

令和4年度奈良県治山事業促進協議会研修会に講師を派遣しました

- 2022年2月8日に奈良県治山事業促進協議会との間で締結した技術支援協定に基づき、同協議会からの要請を受けて、2023年1月31日（火）13時30分～17時開催の令和4年度技術研修会に講師2名を派遣しました。
- 技術研修会は、奈良県森林技術センター林業研修館（高市郡高取町吉備1）において、同協議会会員市町村（1市3村：8名）および奈良県および2農林振興事務所（7名）の参加のもと開催されました。
- 技術研修会では最初に、同協議会の事務局である森林資源生産課から「林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）」（令和3年3月改定）について説明が行われた後、奈良県コンクリート診断士会葛目会長から「奈良県コンクリート診断士の概要と道路インフラメンテナンスの現状および課題」と題して講演が行われました。
- 技術研修会では続いて、参加団体から変状事例や対策事例について7件の発表があり、会員相互で質疑応答が行われた後、講師2名が変状事例や対策事例について解説やコメントを加える形の参加型研修が行われました。事例報告は、鋼橋の塗料に含まれている鉛処理、橋台の洗堀、コンクリート舗装の凍害、寒中コンクリート、中性化に伴う鉄筋腐食、山止め工の外部拘束ひび割れ補修、水路の補修と多岐にわたり、いずれの事例も現場実務に大いに参考になるとと思われるものでした。
- このように研修する側が主体的に事例を報告し、会員相互で質疑応答を繰り返すことで変状事例や対策事例を共有し蓄積していく参加型研修は、会員相互の技術力向上や人的ネットワークの形成に資するもので、引き続き、奈良県治山事業促進協議会との連携を深めていく予定です。



写真 技術研修会の研修状況